

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人青雲会 サポートクラブ つぼみ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境が整備されていること	活動スペースが広く児童1人1人に合わせた個別活動 小集団での活動が行えている。	安全面に配慮し、頭と体を同時に使う活動を増やしていきたい
2	児童が通所を楽しみにしていること	活動が固定化しない様に、支援計画に基づいて様々な仕掛けを 行っている。体験、経験を大切にしているので、職業体験や外 出活動を積極的に行っている。	楽しさの中に、優しさや厳しさを混ぜ込んだ 支援を行ってきたい
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関すること	事業所としては定期的に避難訓練など行っていますが、 保護者に周知ができていない	snsや紙ベースでのお知らせを積極的に行う。
2	保護者会に関すること	コロナ禍以降開催をしておらず、保護者から開催の要望も なかった	保護者からの要望ではなく、事業所の方から積極的に、つな がりを作っていく仕掛けを考える必要がある。
3	他の施設や地域の子どもの交流に関すること	個別支援に重点に置いている為相対的に交流機会に関する 事業が遅れている	外部の交流施設に出向き、きっかけ作りを行ってきたい

令和7年3月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医ケア児を受け入れ予定なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	令和7年 開催予定
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			

	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	3		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	9	1		
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	7	3		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	5	1	提携先を探している
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	4		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	2	令和7年度 開催予定
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	2		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1		Instagramを中心にSNSにて様子を公開している
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	9	1		
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3		モニタリングを行う際に、改めて説明を行う。
満足度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4		避難訓練の様子を保護者にもしっかり伝える。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	8	2		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8	2		

(注釈) 児童数16名 アンケート回収10名 回答率 62.5% 令和7年3月31日

¹ 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

² 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題。平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

事業者における自己評価結果（公表）

公表：令和7 年 3 月 31 日

事業所名 サポートクラブ つばみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スロープ 手すり 有	
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		介護ソフトを使い管理している	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		行事予定表を必ず学校からもらっている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医ケアの受け入れ予定なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		連携先を探している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		連携先を探している
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		協議会の開催が不十分
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		十分なペアレントトレーニングは出来ていない
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			

保護者への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		令和7年開催予定
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	㉓	個人情報に十分注意している	○			
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域イベントには参加をしている
		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感				

非常時等の対応	③⑧	感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和 7 年 3 月 31 日

事業所名 サポートクラブ つばみ

保護者等数（児童数）16人（16人）回収数10 割合 62.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	3				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2				
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	9	1				
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	7	3				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	5	1			提携先を探している
保 護 者	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	10					
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	4				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	2			令和7年開催予定

への説明等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	2			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1			Instagramを中心にSNSにて様子を公開している
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9	1			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3			モニタリングを行う際に、改めて説明を行う。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4			
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	8	2			休みの日も行きたいと言っている
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8	2			

児童数16名 アンケート回収10名 回答率 62.5%

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。